

注3

**大学番号：022**

[平成26年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

**事前伺い**

東京大学大学院 理学系研究科

生物科学専攻

注2

**【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書**

国立大学法人 東京大学

平成26年5月1日現在

# 目 次

## 1 調査対象大学等の概要等

- (1) 設置者 (1ページ)
- (2) 大学名 (1ページ)
- (3) 大学の位置 (1ページ)
- (4) 管理運営組織 (該当なし)
- (5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等 (2ページ)

## 2 授業科目の概要

- (1) 授業科目表 (6ページ)
- (2) 授業科目数 (8ページ)
- (3) 未開講科目 (9ページ)
- (4) 廃止科目 (11ページ)
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 (11ページ)
- (6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合 (11ページ)

## 3 施設・設備の整備状況、経費

(該当なし)

## 4 既設大学等の状況

(13ページ)

## 5 教員組織の状況

- (1) 担当教員表 (該当なし)
- (2) 専任教員数 (20ページ)
- (3) 専任教員辞任等の理由 (該当なし)
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 (該当なし)

## 6 留意事項に対する履行状況等

(該当なし)

## 7 その他全般的事項

- (1) 設置計画変更事項等 (該当なし)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む) (該当なし)
- (3) 自己点検・評価等に関する事項 (該当なし)
- (4) 情報公開に関する事項 (24ページ)

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 東京大学

## (2) 大学名

東京大学

## (3) 大学の位置

〒113-8654  
東京都文京区本郷7丁目3番地1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)  
平成26年度に報告する内容 → (26)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	収容定員	
理学系研究科 生物科学専攻(修士課程) 修士(生物科学)	2年	84人	-	168人	
理学系研究科 生物科学専攻(修士課程) 博士(生物科学)	3年	44人	-	132人	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

【生物科学専攻修士課程】

報告年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	84 ( - ) [ - ]		0.84倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	121 (1) [7]	- (-) [-]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	105 (0) [6]	- (-) [-]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	84 (0) [5]	- (-) [-]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	71 (0) [2]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A					0.84			

【生物科学専攻博士課程】

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 44 ( - ) [ - ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	0.93倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	43 (1) [3]	- (-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	43 (1) [3]	- (-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	41 (1) [2]	- (-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	41 (1) [2]	- (-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A					0.93					

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( ) 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 「社会人」については、設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
  - ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

【生物科学専攻修士課程】

学年	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ 2 ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次			[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次					[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ 2 ]	[ ]	[ ]	[ ]	

【生物科学専攻博士課程】

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ 2 ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ 2 ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

【生物科学専攻修士課程】

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	71人	0人	平成26年度	0人	0人		0.0%
合計	71人	0人					0.0%

【生物科学専攻博士課程】

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	41人	0人	平成26年度	0人	0人		0.0%
合計	41人	0人					0.0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要  
 <理学系研究科生物科学専攻>

(1) 授業科目表

【生物科学専攻修士課程】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通専門科目	構造生物学特論	1・2前		2		1 2	1 2				3 兼2	オムニバス 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	生物情報・分子遺伝学特論	後 1・2併		2		2	2 2	2 1			兼1	オムニバス 履修計画の見直しによる、配当年次の 変更 (26) 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	光計測生物学特論	1・2前		2		4	2				1 兼2	オムニバス 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	神経生物学特論	1・2前		2		4	2				兼1	オムニバス
	分子病理学特論	1・2後		2		4		2			兼2	オムニバス
	発生生物学特論	前 1・2併		2		5	5 4					オムニバス 履修計画の見直しによる、配当年次の 変更 (26) 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	細胞生物学特論	1・2後		2		2 1	3				兼2	オムニバス 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	自然誌生物学特論	1・2後		2		2	4					
	生物学セミナー A	1・2前		1			2				兼5	履修計画の見直しによる、隔年開講 (26)
	生物学セミナー B	1・2後		1			2				兼5	履修計画の見直しによる、隔年開講 (26)
共通セミナー	生物学セミナー C	1・2前		1			2				兼5	履修計画の見直しによる、隔年開講 (26)
	生物学セミナー D	1・2後		1			2				兼5	履修計画の見直しによる、隔年開講 (26)
	生物多様性生物学演習	1・2前		2		1	1					担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	分子系統学演習	1・2後		2		1						
	人類学セミナー1	1・2前		1		2	2		1			隔年開講
	人類学セミナー2	1・2後		1		2	2		1			隔年開講
	人類学セミナー3	1・2前		1		2	2		1			隔年開講
	人類学セミナー4	1・2後		1		2	2		1			隔年開講
	人類科学特論1	1・2前		2		3	1 2	1				隔年開講 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	人類科学特論2	1・2後		2		3	2					隔年開講
専門科目	人類科学演習1	1・2前		1		2	2				兼1	隔年開講
	人類科学演習2	1・2後		1		3 2	1 2	1			兼1	隔年開講 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	海洋生物学	1・2後		2		1 2	3				兼1	担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	海洋科学野外実習 I	1・2後		1		1					兼1	
	海洋科学野外実習 II	1・2前		1		1					1 兼2	担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	海洋基礎科学	1・2後		2		1					兼1	オムニバス
	新基盤生物学 I	1・2前		2		2						履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学 II	1・2後		2		2						履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学 III	1・2前		2		2						履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学 IV	1・2後		2		2						履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
基盤生命専門科目	新基盤生物学特別演習1	1・2前		1			1					履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学特別演習2	1・2後		1			1					履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学特別演習3	1・2前		1			1					履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学特別演習4	1・2後		1			1					履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新国際基盤生物学特論1	1・2前		1			1					
	新国際基盤生物学特論2	前 1・2併		1			1					履修計画の見直しによる、配当年次の 変更 (26)
	新国際基盤生物学特論3	1・2前		1			1					
	新国際基盤生物学特論4	前 1・2併		1			1					履修計画の見直しによる、配当年次の 変更 (26)
	科学英語演習 VI	1・2前		1		2 1						担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	科学英語演習 VII	1・2後		1		2 1						担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
専攻科目	生物科学演習 I	1~2通	4			33 22	30	2	46 40		兼44	専任教員の配置変更による教員の増減 (26)
	生物科学特別実験 I	1~2通	12			33 22	30	2	46 40		兼44	専任教員の配置変更による教員の増減 (26)
合計 (42科目)		—	16	58	0	33 22	30	2	46 40	0	兼44	



【生物科学専攻博士課程】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通専門科目	構造生物学特論	1・2・3前		2		1 2	1 2				3 兼2	オムニバス 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	生物情報・分子遺伝学特論	1・2・3 後 併		2		2	2 2	2 +			兼1	オムニバス 履修計画の見直しによる、配当年次の 変更 (26) 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	光計測生命科学特論	1・2・3前		2		4	2				1 兼2	オムニバス 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	神経生物学特論	1・2・3前		2		4	2				兼1	オムニバス
	分子病理学特論	1・2・3後		2		4		2			兼2	オムニバス
	発生生物学特論	1・2・3 前 後		2		5	5 +					オムニバス 履修計画の見直しによる、配当年次の 変更 (26) 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	細胞生物学特論	1・2・3後		2		2 +	3				兼2	オムニバス 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	自然誌生物学特論	1・2・3後		2		2	4					
	生物学セミナー A	1・2・3前		1			2				兼5	履修計画の見直しによる、隔年開講 (26)
	生物学セミナー B	1・2・3後		1			2				兼5	履修計画の見直しによる、隔年開講 (26)
共通セミナー	生物学セミナー C	1・2・3前		1			2			兼5	履修計画の見直しによる、隔年開講 (26)	
	生物学セミナー D	1・2・3後		1			2			兼5	履修計画の見直しによる、隔年開講 (26)	
	生物多様性生物学演習	1・2・3前		2		+	1					担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	分子系統学演習	1・2・3後		2		1						
	人類学セミナー1	1・2・3前		1		2	2			1		隔年開講
	人類学セミナー2	1・2・3後		1		2	2			1		隔年開講
	人類学セミナー3	1・2・3前		1		2	2			1		隔年開講
	人類学セミナー4	1・2・3後		1		2	2			1		隔年開講
	人類科学特論1	1・2・3前		2		3	1 2	1				隔年開講 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	人類科学特論2	1・2・3後		2		3	2					隔年開講
専門科目	人類科学演習1	1・2・3前		1		2	2				兼1	隔年開講
	人類科学演習2	1・2・3後		1		3 2	1 2	1			兼+	隔年開講 担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	海洋生物学	1・2・3後		2		1 2	3				兼1	担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	海洋科学野外実習 I	1・2・3後		1		1					兼1	
	海洋科学野外実習 II	1・2・3前		1		1					1 兼2	担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	海洋基礎科学	1・2・3後		2		1					兼1	オムニバス
	新基盤生物学 I	1・2・3前		2		2						履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学 II	1・2・3後		2		2						履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学 III	1・2・3前		2		2						履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学 IV	1・2・3後		2		2						履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
基盤生命専門科目	新基盤生物学特別演習1	1・2・3前		1			1					履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学特別演習2	1・2・3後		1			1					履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学特別演習3	1・2・3前		1			1					履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新基盤生物学特別演習4	1・2・3後		1			1					履修計画の見直しによる、隔年開講及 び連携分野との調整による未開講 (26)
	新国際基盤生物学特論1	1・2・3前		1			1					
	新国際基盤生物学特論2	1・2・3 前 後		1			1					履修計画の見直しによる、配当年次の 変更 (26)
	新国際基盤生物学特論3	1・2・3前		1			1					
	新国際基盤生物学特論4	1・2・3 前 後		1			1					履修計画の見直しによる、配当年次の 変更 (26)
	科学英語演習 VI	1・2・3前		1		2 +						担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
	科学英語演習 VII	1・2・3後		1		2 +						担当教員の見直しによる教員の増減 (26)
専攻科目	生物学演習 II	1~3通	4			33 22	30	2		46 40	兼44	専任教員の配置変更による教員の増減 (26)
	生物学特別実験 II	1~3通	16			33 22	30	2		46 40	兼44	専任教員の配置変更による教員の増減 (26)
合計 (42科目)		—	20	58	0	33 22	30	2		46 40	0	兼44

- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 40	科目 0	科目 42	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 40	科目 0	科目 42	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

## (3) 未開講科目

## 【生物科学専攻修士課程】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	生物科学セミナーA	1	1・2前	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
2	生物科学セミナーB	1	1・2後	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
3	新基盤生命学Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
4	新基盤生命学Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
5	新基盤生命学Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
6	新基盤生命学Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	履修計画の見直しにより、平成28年度以降、 隔年開講することとした。
7	新基盤生命学特別演習1	1	1・2前	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
8	新基盤生命学特別演習2	1	1・2後	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
9	新基盤生命学特別演習3	1	1・2前	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
10	新基盤生命学特別演習4	1	1・2後	専門	選択	履修計画の見直しにより、平成28年度以降、 隔年開講することとした。

【生物科学専攻博士課程】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	生物科学セミナーA	1	1・2・3前	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
2	生物科学セミナーB	1	1・2・3後	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
3	新基盤生命学Ⅰ	2	1・2・3前	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
4	新基盤生命学Ⅱ	2	1・2・3後	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
5	新基盤生命学Ⅲ	2	1・2・3前	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
6	新基盤生命学Ⅳ	2	1・2・3後	専門	選択	履修計画の見直しにより、平成28年度以降、 隔年開講することとした。
7	新基盤生命学特別演習1	1	1・2・3前	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
8	新基盤生命学特別演習2	1	1・2・3後	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
9	新基盤生命学特別演習3	1	1・2・3前	専門	選択	履修計画の見直しにより、隔年開講とした。 (平成27年度開講)
10	新基盤生命学特別演習4	1	1・2・3後	専門	選択	履修計画の見直しにより、平成28年度以降、 隔年開講することとした。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

【生物科学専攻修士課程】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

【生物科学専攻博士課程】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【生物科学専攻修士課程】

「大学の所見」  
平成26年度未開講科目は、平成27年度から8科目を、平成28年度から2科目を隔年で開講する。平成28年度開講となる2科目についても、平成27年度に開講される科目で内容が補われ、学生は希望する内容を学習することができる。なお、修了に必要な内容及び単位数を上回る科目は開講されている。

「学生への周知方法」  
大学院履修案内、大学院便覧、Webシラバスにより未開講の科目は確認できる。なお、開講科目については、その講義内容を詳細に示しており、学生はそこから履修科目を選択している。

【生物科学専攻博士課程】

「大学の所見」  
平成26年度未開講科目は、平成27年度から8科目を、平成28年度から2科目を隔年で開講する。平成28年度開講となる2科目についても、H27年度に開講される科目で内容が補われ、学生は希望する内容を学習することができる。なお、修了に必要な内容及び単位数を上回る科目は開講されている。

「学生への周知方法」  
大学院履修案内、大学院便覧、Webシラバスにより未開講の科目は確認できる。なお、開講科目については、その講義内容を詳細に示しており、学生はそこから履修科目を選択している。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

【生物科学専攻修士課程】

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.23}$$

【生物科学専攻博士課程】

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.23}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)			
	校舎敷地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				
	運動場用地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				
	小 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				
	そ の 他	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				
	合 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用				
	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数		(例) 平成26年4月 専任教員1名を新規 採用のため(26)				
	〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 15 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	〇〇学部	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )		
	計	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	m <sup>2</sup>								
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	m <sup>2</sup>								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	東京大学									
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考	
<b>学士課程</b> 教養学部（前期課程） 文科一類 文科二類 文科三類 理科一類 理科二類 理科三類	年	人	年次	人		倍		東京都目黒区 駒場3-8-1	本学では、各学部学科ごとに定めている入学定員を、教養学部前期課程（文科一類から三類、理科一類から三類）に振り分けて入学者選抜を行っている。学生は、1～2年次は教養学部前期課程に在籍し、3年次進学の際に「進学振分け」により各学部各学科等に所属することになる。 そのため、学士課程の平均入学定員充足率については、教養学部前期課程文科一類、文科二類、文科三類、理科一類、理科二類、理科三類で算出した。	
文科一類 法学部 第1類、第2類、第3類	4	400	—	1600	学士（法学）	1.05	S24年度	東京都文京区 本郷7-3-1	また、本学では、平成20年度より、第二次学力試験後期日程において、文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類を一本化して募集を行う「全科類枠」での入学者選抜を行っている。しかし、全科類の合格者は、文科一類から理科二類のいずれかに入学するため、平均入学定員充足率の計算にあたっては、全科類の入学定員100名を、文科一類から理科二類の入学定員に含めて算出した。 算出に使用した各定員は以下の通り。 文科一類 415名 文科二類 365名 文科三類 485名 理科一類 1,147名 理科二類 551名 理科三類 100名	
文科二類 経済学部 経済学科 経営学科 金融学科	4 4 4	170 100 70	— — —	680 400 280	学士（経済学） 学士（経済学） 学士（経済学）	1.01	S24年度 S24年度 H19年度	東京都文京区 本郷7-3-1		
文科三類 文学部 思想文化学科 歴史文化学科 言語文化学科 行動文化学科 教育学部 総合教育科学科	4 4 4 4 4	90 60 160 40 95	— — — 10 — (3年次)	360 240 640 180 380	学士（文学） 学士（文学） 学士（文学） 学士（文学） 学士（教育学）	1.01	S24年度 S24年度 S24年度 S24年度 H7年度	東京都文京区 本郷7-3-1  東京都文京区 本郷7-3-1		
理科一類 工学部 社会基盤学科 建築学科 都市工学科 機械工学科 機械情報工学科 航空宇宙工学科 精密工学科 電子情報工学科 電気電子工学科 物理工学科 計数工学科 マテリアル工学科 応用化学科 化学システム工学科 化学生命工学科 システム創成学科	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	40 60 50 85 40 52 45 40 75 50 55 75 50 55 75 55 50 50 116	— — — — — — — — — — — — — — — — — — — 10 20	160 240 200 340 160 208 180 160 300 200 220 300 200 220 300 220 200 200 464	学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学） 学士（工学）	1.03	H16年度 S24年度 S24年度 H21年度 H3年度 S24年度 H18年度 H3年度 H20年度 S24年度 S24年度 H11年度 H6年度 H6年度 H6年度 H12年度	東京都文京区 本郷7-3-1		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
理学部 数学科 情報科学科 物理学科 天文学科 地球惑星物理学科	4 4 4 4 4	44 24 69 5 32	— — — — —	176 96 276 20 128	学士(理学) 学士(理学) 学士(理学) 学士(理学) 学士(理学)		S24年度 S50年度 S24年度 S24年度 S24年度	東京都文京区 本郷7-3-1	
理科二類 理学部 地球惑星環境学科 化学科 生物化学科 生物学科 生物情報科学科 農学部 応用生命科学課程 環境資源科学課程 獣医学課程 薬学部 薬科学科 薬学科 医学部 健康総合科学科	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 6 4 6 4	19 44 15 18 10 152 108 30 72 8 40	— — — — — — — — — — — — — —	76 176 60 72 40 594 446 180 288 48 160	学士(理学) 学士(理学) 学士(理学) 学士(理学) 学士(理学) 学士(農学) 学士(農学) 学士(獣医学) 学士(薬科学) 学士(薬学) 学士(保健学)	1.02	S24年度 S24年度 S24年度 S24年度 H19年度 H6年度 H18年度 H6年度 H18年度 H18年度 S28年度	東京都文京区 本郷7-3-1     東京都文京区 弥生1-1-1    東京都文京区 本郷7-3-1  東京都文京区 本郷7-3-1	
理科三類 医学部 医学科	6	110	—	660	学士(医学)	1.00	S24年度	東京都文京区 本郷7-3-1	
教養学部(後期課程) 教養学科 統合自然科学科 学際科学科 超域文化科学科 地域文化研究学科 総合社会科学科 基礎科学科 広域科学科 生命・認知科学科	4 4 4 4 4 4 4 4 4	65 50 25 — — — — — —	— — — — — — — — —	260 200 100 — — — — — —	学士(教養) 学士(教養) 学士(教養) 学士(教養) 学士(教養) 学士(教養) 学士(教養) 学士(教養) 学士(教養)		H23年度 H23年度 H23年度 H8年度 H8年度 H8年度 H8年度 H8年度 H8年度	東京都目黒区 駒場3-8-1	教養学部については、各類で定めた入学定員数と各類から主に進学できる学科定員数の範囲内で、進学できるようになっている。  平成23年度設置(学生受入は平成25年度より)  平成23年度より学生募集停止
<b>修士課程・博士課程</b> 人文社会系研究科 基礎文化研究専攻(M) 基礎文化研究専攻(D) 日本文化研究専攻(M) 日本文化研究専攻(D) アジア文化研究専攻(M) アジア文化研究専攻(D) 欧米系文化研究専攻(M) 欧米系文化研究専攻(D) 社会文化研究専攻(M) 社会文化研究専攻(D) 文化資源学研究専攻(M) 文化資源学研究専攻(D) 韓国朝鮮文化研究専攻(M) 韓国朝鮮文化研究専攻(D)	年 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3	人 55 30 28 16 38 21 33 19 16 10 11 6 12 6	年次 — — — — — — — — — — — — — — —	人 110 90 56 48 76 63 66 57 32 30 22 18 24 18	修士(文学)、修士(心理学) 博士(文学)、博士(心理学) 修士(文学) 博士(文学) 修士(文学) 博士(文学) 修士(文学) 博士(文学) 修士(文学) 博士(文学) 修士(文学) 博士(文学) 修士(文学) 博士(文学)	倍 0.48 0.71 0.80 0.58 0.40 0.58 1.00 1.08 0.84 0.60 0.86 0.50 0.50 0.77		東京都文京区 本郷7-3-1	



既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は称号	定員超過率	開設 年度	所 在 地	備 考	
教育学研究科								東京都文京区 本郷7-3-1		
総合教育科学専攻 (M)	2	67	—	134	修士 (教育学)	0.91	H 7年度			
総合教育科学専攻 (D)	3	37	—	111	博士 (教育学)	0.90	H 7年度			
学校教育高度化専攻 (M)	2	21	—	42	修士 (教育学)	1.09	H18年度			
学校教育高度化専攻 (D)	3	12	—	36	博士 (教育学)	0.88	H18年度			
法学政治学研究科								東京都文京区 本郷7-3-1		
総合法政専攻 (M)	2	20	—	40	修士 (法学)	0.67	H16年度			
総合法政専攻 (D)	3	40	—	120	博士 (法学)	0.44	H16年度			
経済学研究科								東京都文京区 本郷7-3-1		
経済理論専攻 (M)	2	14	—	28	修士 (経済学)	1.07	H 8年度			
経済理論専攻 (D)	3	10	—	30	博士 (経済学)	0.73	H 8年度			
現代経済専攻 (M)	2	24	—	48	修士 (経済学)	1.41	H 6年度			
現代経済専攻 (D)	3	22	—	66	博士 (経済学)	0.50	H 6年度			
経営専攻 (M)	2	17	—	34	修士 (経済学)	0.35	H19年度			
経営専攻 (D)	3	9	—	27	博士 (経済学)	0.37	H19年度			
経済史専攻 (M)	2	11	—	22	修士 (経済学)	0.36	H 8年度			
経済史専攻 (D)	3	7	—	21	博士 (経済学)	0.52	H 8年度			
金融システム専攻 (M)	2	15	—	30	修士 (経済学)	1.13	H17年度			
金融システム専攻 (D)	3	8	—	24	博士 (経済学)	0.20	H17年度			
総合文化研究科								東京都目黒区 駒場3-8-1		
言語情報科学専攻 (M)	2	30	—	60	修士(学術)、修士(国際貢献)、修士(欧州研究)	0.85	H 5年度			
言語情報科学専攻 (D)	3	23	—	69	博士(学術)、博士(国際貢献)	0.92	H 5年度			
超域文化科学専攻 (M)	2	40	—	80	修士(学術)、修士(国際貢献)、修士(欧州研究)	0.70	H 8年度			
超域文化科学専攻 (D)	3	26	—	78	博士(学術)、博士(国際貢献)	0.84	H 8年度			
地域文化研究専攻 (M)	2	44	—	88	修士(学術)、修士(国際貢献)、修士(欧州研究)	0.72	H 8年度			
地域文化研究専攻 (D)	3	26	—	78	博士(学術)、博士(国際貢献)	0.92	H 8年度			
国際社会科学専攻 (M)	2	37	—	74	修士(学術)、修士(国際貢献)、修士(欧州研究)	1.02	H 8年度			
国際社会科学専攻 (D)	3	22	—	66	博士(学術)、博士(国際貢献)	0.89	H 8年度			
広域科学専攻 (M)	2	118	—	236	修士(学術)、修士(国際貢献)、修士(欧州研究)	1.04	H 6年度			
広域科学専攻 (D)	3	74	—	222	博士(学術)、博士(国際貢献)	0.72	H 6年度			
理学系研究科								東京都文京区 本郷7-3-1		
物理学専攻 (M)	2	150	—	302	修士 (理学)	0.74	H 5年度			
物理学専攻 (D)	3	79	—	237	博士 (理学)	0.91	H 5年度			
天文学専攻 (M)	2	23	—	46	修士 (理学)	0.91	H 5年度			
天文学専攻 (D)	3	14	—	42	博士 (理学)	1.09	H 5年度			
地球惑星科学専攻 (M)	2	109	—	218	修士 (理学)	0.65	H12年度			
地球惑星科学専攻 (D)	3	52	—	158	博士 (理学)	0.67	H12年度			
化学専攻 (M)	2	52	—	104	修士 (理学)	1.23	H 4年度			
化学専攻 (D)	3	26	—	78	博士 (理学)	1.10	H 4年度			
生物化学専攻 (M)	2	—	—	—	修士 (理学)	1.51	H 4年度		平成26年度より募集停止	
生物化学専攻 (D)	3	—	—	—	博士 (理学)	1.13	H 4年度			
生物科学専攻 (M)	2	—	—	—	修士 (理学)	0.67	H 7年度			
生物科学専攻 (D)	3	—	—	—	博士 (理学)	0.76	H 7年度			
生物科学専攻 (M)	2	84	—	84	修士 (理学)	0.84	H 26年度			
生物科学専攻 (D)	3	44	—	44	博士 (理学)	0.90	H 26年度			
工学系研究科								東京都文京区 本郷7-3-1		
社会基盤学専攻 (M)	2	52	—	104	修士 (工学)	1.42	H 8年度			
社会基盤学専攻 (D)	3	24	—	72	博士 (工学)	1.00	H 8年度			
建築学専攻 (M)	2	42	—	84	修士 (工学)	1.92	H 4年度			
建築学専攻 (D)	3	16	—	48	博士 (工学)	1.25	H 4年度			
都市工学専攻 (M)	2	37	—	74	修士 (工学)	1.31	H 4年度			
都市工学専攻 (D)	3	11	—	33	博士 (工学)	1.66	H 4年度			
機械工学専攻 (M)	2	52	—	104	修士 (工学)	1.73	H21年度			
機械工学専攻 (D)	3	25	—	75	博士 (工学)	0.68	H21年度			
精密工学専攻 (M)	2	27	—	54	修士 (工学)	1.55	H 4年度			
精密工学専攻 (D)	3	12	—	36	博士 (工学)	0.83	H 4年度			
システム創成学専攻 (M)	2	45	—	90	修士 (工学)	1.62	H20年度			
システム創成学専攻 (D)	3	19	—	57	博士 (工学)	0.57	H20年度			
航空宇宙工学専攻 (M)	2	37	—	74	修士 (工学)	1.58	H 5年度			
航空宇宙工学専攻 (D)	3	18	—	54	博士 (工学)	0.79	H 5年度			
電気系工学専攻 (M)	2	70	—	140	修士 (工学)	1.45	H20年度			
電気系工学専攻 (D)	3	32	—	96	博士 (工学)	0.87	H20年度			

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は称号	定員超過率	開設 年度	所 在 地	備 考		
理工学専攻 (M)	2	42	—	84	修士 (工学)	1.38	H 5年度	東京都文京区			
理工学専攻 (D)	3	19	—	57	博士 (工学)	1.22	H 5年度				
マテリアル工学専攻 (M)	2	45	—	90	修士 (工学)	1.24	H14年度				
マテリアル工学専攻 (D)	3	20	—	60	博士 (工学)	0.60	H14年度				
応用化学専攻 (M)	2	33	—	66	修士 (工学)	1.50	H 6年度				
応用化学専攻 (D)	3	13	—	39	博士 (工学)	0.84	H 6年度				
化学システム工学専攻 (M)	2	28	—	56	修士 (工学)	1.35	H 6年度				
化学システム工学専攻 (D)	3	13	—	39	博士 (工学)	0.69	H 6年度				
化学生命工学専攻 (M)	2	32	—	64	修士 (工学)	1.46	H 6年度				
化学生命工学専攻 (D)	3	13	—	39	博士 (工学)	1.12	H 6年度				
先端学際工学専攻 (D)	3	46	—	138	博士 (工学)、博士 (学術)	0.39	H 4年度				
原子力国際専攻 (M)	2	22	—	44	修士 (工学)	1.18	H17年度				
原子力国際専攻 (D)	3	11	—	33	博士 (工学)	0.75	H17年度				
バイオエンジニアリング専攻 (M)	2	34	—	68	修士 (工学)	0.91	H18年度				
バイオエンジニアリング専攻 (D)	3	12	—	36	博士 (工学)	1.11	H18年度				
技術経営戦略学専攻 (M)	2	21	—	42	修士 (工学)	1.57	H18年度				
技術経営戦略学専攻 (D)	3	8	—	24	博士 (工学)	1.16	H18年度				
農学生命科学研究科											
生産・環境生物学専攻 (M)	2	28	—	56	修士 (農学)	0.91	H 7年度	東京都文京区 弥生1-1-1			
生産・環境生物学専攻 (D)	3	13	—	39	博士 (農学)	0.92	H 7年度				
応用生命化学専攻 (M)	2	34	—	68	修士 (農学)	1.85	H 6年度				
応用生命化学専攻 (D)	3	16	—	48	博士 (農学)	1.16	H 6年度				
応用生命工学専攻 (M)	2	43	—	86	修士 (農学)	0.81	H 6年度				
応用生命工学専攻 (D)	3	20	—	60	博士 (農学)	0.71	H 6年度				
森林科学専攻 (M)	2	20	—	40	修士 (農学)	0.85	H 7年度				
森林科学専攻 (D)	3	10	—	30	博士 (農学)	0.70	H 7年度				
水圏生物科学専攻 (M)	2	30	—	60	修士 (農学)	0.81	H 7年度				
水圏生物科学専攻 (D)	3	15	—	45	博士 (農学)	1.11	H 7年度				
農業・資源経済学専攻 (M)	2	17	—	34	修士 (農学)	0.58	H 8年度				
農業・資源経済学専攻 (D)	3	8	—	24	博士 (農学)	0.45	H 8年度				
生物・環境工学専攻 (M)	2	17	—	34	修士 (農学)	0.73	H 8年度				
生物・環境工学専攻 (D)	3	8	—	24	博士 (農学)	0.62	H 8年度				
生物材料科学専攻 (M)	2	17	—	34	修士 (農学)	1.52	H 8年度				
生物材料科学専攻 (D)	3	8	—	24	博士 (農学)	0.95	H 8年度				
農学国際専攻 (M)	2	43	—	86	修士 (農学)	0.67	H 9年度				
農学国際専攻 (D)	3	19	—	57	博士 (農学)	0.56	H 9年度				
生圏システム学専攻 (M)	2	25	—	50	修士 (農学)	0.68	H12年度				
生圏システム学専攻 (D)	3	18	—	54	博士 (農学)	0.27	H12年度				
応用動物科学専攻 (M)	2	19	—	38	修士 (農学)	0.71	H 6年度				
応用動物科学専攻 (D)	3	8	—	24	博士 (農学)	0.45	H 6年度				
獣医学専攻 (D)	4	13	—	52	博士 (獣医学)	1.09	H 6年度				
医学系研究科											
分子細胞生物学専攻 (D)	4	19	—	76	博士 (医学)	0.43	H 9年度			東京都文京区 本郷7-3-1	
機能生物学専攻 (D)	4	14	—	56	博士 (医学)	0.41	H 9年度				
病因・病理学専攻 (D)	4	33	—	132	博士 (医学)	0.80	H 7年度				
生体物理医学専攻 (D)	4	17	—	68	博士 (医学)	0.66	H 9年度				
脳神経医学専攻 (D)	4	21	—	84	博士 (医学)	1.03	H 9年度				
社会医学専攻 (D)	4	14	—	56	博士 (医学)	0.85	H 7年度				
内科学専攻 (D)	4	36	—	144	博士 (医学)	1.51	H 8年度				
生殖・発達・加齢医学専攻 (D)	4	16	—	64	博士 (医学)	1.20	H 7年度				
外科学専攻 (D)	4	40	—	160	博士 (医学)	1.21	H 7年度				
健康科学・看護学専攻 (M)	2	25	—	50	修士 (保健学)	0.92	H 8年度				
健康科学・看護学専攻 (D)	3	25	—	75	博士 (保健学)	0.61	H 8年度				
国際保健学専攻 (M)	2	21	—	42	修士 (保健学)	0.95	H 8年度				
国際保健学専攻 (D)	3	9	—	27	博士 (保健学)	1.33	H 8年度				
医科学専攻 (M)	2	20	—	40	修士 (医科学)	1.10	H11年度				
薬学系研究科											
分子薬学専攻 (D)	3	—	—	—	博士 (薬学)	—	H 9年度	東京都文京区 本郷7-3-1	平成24年度より募集停止		
機能薬学専攻 (D)	3	—	—	—	博士 (薬学)	—	H 9年度				
生命薬学専攻 (D)	3	—	—	—	博士 (薬学)	—	H 9年度				
統合薬学専攻 (D)	3	—	—	—	博士 (薬学)	—	H20年度				

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は称号	定員超過率	開設 年度	所 在 地	備 考
薬科学専攻 (M)	2	100	—	200	修士 (薬科学)	0.98	H22年度		
薬科学専攻 (D)	3	50	—	150	博士 (薬科学)	1.03	H24年度		
薬学専攻 (D)	4	10	—	30	博士 (薬学)	0.36	H24年度		
数理科学研究科								東京都目黒区	
数理科学専攻 (M)	2	53	—	106	修士 (数理科学)	0.88	H 4年度	駒場 3-8-1	
数理科学専攻 (D)	3	32	—	96	博士 (数理科学)	0.85	H 4年度		
新領域創成科学研究科								千葉県柏市	
物質系専攻 (M)	2	38	—	76	修士 (科学)	1.09	H11年度	柏の葉 5-1-5	
物質系専攻 (D)	3	18	—	54	博士 (科学)	0.92	H11年度		
先端エネルギー工学専攻 (M)	2	24	—	48	修士 (科学)	1.62	H10年度		
先端エネルギー工学専攻 (D)	3	12	—	36	博士 (科学)	0.72	H10年度		
複雑理工学専攻 (M)	2	25	—	50	修士 (科学)	1.24	H10年度		
複雑理工学専攻 (D)	3	11	—	33	博士 (科学)	0.78	H10年度		
先端生命科学専攻 (M)	2	54	—	108	修士 (生命科学)	0.70	H10年度		
先端生命科学専攻 (D)	3	23	—	69	博士 (生命科学)	0.66	H10年度		
メディカルゲノム専攻 (M)	2	29	—	58	修士 (生命科学)、修士 (科学)	1.82	H16年度		
メディカルゲノム専攻 (D)	3	13	—	39	博士 (生命科学)、博士 (科学)	2.23	H16年度		
自然環境学専攻 (M)	2	46	—	92	修士 (環境学)、修士 (サステイナビリティ学)	0.93	H18年度		
自然環境学専攻 (D)	3	20	—	60	博士 (環境学)	0.85	H18年度		
海洋技術環境学専攻 (M)	2	18	—	36	修士 (環境学)	1.05	H20年度		
海洋技術環境学専攻 (D)	3	7	—	21	博士 (環境学)	0.61	H20年度		
環境システム学専攻 (M)	2	18	—	36	修士 (環境学)、修士 (サステイナビリティ学)	1.30	H18年度		
環境システム学専攻 (D)	3	8	—	24	博士 (環境学)	0.70	H18年度		
人間環境学専攻 (M)	2	38	—	76	修士 (環境学)、修士 (サステイナビリティ学)	1.05	H18年度		
人間環境学専攻 (D)	3	16	—	48	博士 (環境学)、博士 (科学)	0.54	H18年度		
社会文化環境学専攻 (M)	2	32	—	64	修士 (環境学)、修士 (サステイナビリティ学)	0.93	H18年度		
社会文化環境学専攻 (D)	3	14	—	42	博士 (環境学)	0.40	H18年度		
国際協力学専攻 (M)	2	20	—	40	修士 (国際協力学)、修士 (サステイナビリティ学)	1.15	H18年度		
国際協力学専攻 (D)	3	10	—	30	博士 (国際協力学)	0.76	H18年度		
情報生命科学専攻 (M)	2	24	—	48	修士 (科学)	0.39	H15年度		
情報生命科学専攻 (D)	3	11	—	33	博士 (科学)	0.57	H15年度		
情報理工学系研究科								東京都文京区	
コンピュータ科学専攻 (M)	2	27	—	54	修士 (情報理工学)	1.12	H13年度	本郷 7-3-1	
コンピュータ科学専攻 (D)	3	12	—	36	博士 (情報理工学)	0.75	H13年度		
数理情報学専攻 (M)	2	25	—	50	修士 (情報理工学)	1.26	H13年度		
数理情報学専攻 (D)	3	9	—	27	博士 (情報理工学)	0.92	H13年度		
システム情報学専攻 (M)	2	25	—	50	修士 (情報理工学)	1.22	H13年度		
システム情報学専攻 (D)	3	9	—	27	博士 (情報理工学)	0.37	H13年度		
電子情報学専攻 (M)	2	28	—	56	修士 (情報理工学)	1.78	H13年度		
電子情報学専攻 (D)	3	12	—	36	博士 (情報理工学)	1.05	H13年度		
知能機械情報学専攻 (M)	2	24	—	48	修士 (情報理工学)	1.95	H13年度		
知能機械情報学専攻 (D)	3	8	—	24	博士 (情報理工学)	1.33	H13年度		
創造情報学専攻 (M)	2	29	—	58	修士 (情報理工学)	0.91	H15年度		
創造情報学専攻 (D)	3	12	—	36	博士 (情報理工学)	0.27	H15年度		
学際情報学府								東京都文京区	
学際情報学専攻 (M)	2	100	—	200	修士 (学際情報学)、修士 (社会情報学)	0.84	H12年度	本郷 7-3-1	
学際情報学専攻 (D)	3	44	—	132	博士 (学際情報学)、博士 (社会情報学)	0.69	H12年度		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は称号	定員超過率	開設 年度	所 在 地	備 考
<b>専門職学位課程</b>	年	人	年次	人		倍			
法学政治学研究科 法曹養成専攻（P）	2	240	—	720	法務博士（専門職）	0.95	H16年度	東京都文京区 本郷7-3-1	
法学既修者		(うち165)	—						
法学未修者	3	(うち75)	—						
工学系研究科 原子力専攻（P）	1	15	—	15	原子力修士（専門職）	1.20	H17年度	東京都文京区 本郷7-3-1	
医学系研究科 公共健康医学専攻（P）		30	—	60	公衆衛生学修士（専門職）	1.03	H19年度	東京都文京区 本郷7-3-1	
標準修業年限2年コース	2	(うち20)	—						
標準修業年限1年コース	1	(うち10)	—						
公共政策学教育部 公共政策学専攻（P）	2	110	—	220	公共政策学修士（専門職）	0.99	H16年度	東京都文京区 本郷7-3-1	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<〇〇研究科 〇〇専攻 (〇〇課程)>

### (1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
(記入例) 専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成25年4月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	兼任	講師	◆◆◆◆ (〇〇)	平成25年4月	国際経済学特論	平成25年3月 〇〇〇〇教授就任辞任のため 担当者の変更(25)  平成25年7月 A C教員審査済(26)
					兼任	講師	◇◇◇◇ (〇〇)	平成25年4月	日本経済学特論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成25年10月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成25年10月	■■■■論						……………のため、就任が遅延 (26)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成25年4月	◎◎◎論			後任未定			平成25年10月 □□□□准教授就任辞退(26) 「後任未定」平成26年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成26年4月	〇〇〇〇論	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(26)

(注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻 (〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

・ 「**事前伺い**」により設置された学部等については、**本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

【生物科学専攻修士課程】

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
64 ( )	40 ( )	104 ( )	65 [ 1 ]	46 [ 6 ]	111 [ 7 ]	65 歳	0 名

【生物科学専攻博士課程】

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
64 ( )	40 ( )	104 ( )	65 [ 1 ]	46 [ 6 ]	111 [ 7 ]	65 歳	0 名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。



## 7 その他全般的事項

<△△学部 □□学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況 (教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・平成26年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成26年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成26年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成27年3月末日 )